

8/26 木

コロナ感染、二転急増

定点調査 5類移行後の最多

厚生労働省が25日発表した新型コロナワイルス感染症の直近1週間（14～20日）の「定点把握調査」によれば、新規感染者は前週比1万9686人増の8万6756人と、5類感染症への移行（5月8日）以来過去最多を記録しました。前々週から2週連続で微減していましたが、今回

は二転して急増。新規入院患者も増加に転じました。

「医療機関等情報支援システム」（G-MIS）のデータ（速報値）によると、新型コロナの直近1週間（14～20日）の新規入院患者は1万3135人で、前週より1439人増加。集中治療室（ICU）の入院中患

者は25・3人へと2倍になりました。いずれも、5類移行後の最多を更新しました。

新規感染についての

「定点把握調査」は、

全国約5000の医療機関からの報告に基づくもので、実際の感染者数が数段多いのは明

らかで、さらなる医療

施設が前週の14・1人から25・3人へと2倍

は17・8人で、岐阜県が最多の31・0人でした。

定点当たりの新規感染者が前週の14・1人止対策の徹底を呼びかけています。

近くに急増した福島県では、コロナ専用病床の使用率も4割を超え拡大の影響が本格的に表れるのはこれからで、各自治体は警戒を強めています。